

塩田鹿児島県知事との「ふれあい対話」開催 知事と参加者 11 名が意見を交わす

塩田鹿児島県知事と町民の「ふれあい対話」が11月12日に町文化センターで開催されました。公募や町の推薦で参加した11名が知事と意見交換を行い、28名が傍聴。大隅縦貫道の早期開通や農林水産業の振興、医療ケアの支援などの意見や要望に対して、知事は「できるだけ県政に反映していきたい」と答えました。



参加者からの質問に対し、丁寧に答える塩田知事。空き家を活用した「錦江町ゲストハウスよろっで」の視察も行われました。

3年振りに開催され約1,700名が来場 錦江町いきいき秋まつり開催

11月9日、サンドームおおねじめで「錦江町いきいき秋まつり」が3年振りに開催。会場では新鮮な野菜や加工品、黒毛和牛などが販売され、屋前には売完となる店舗もありました。また、ラジコン草刈り機の実演や建設機械の乗車体験、バブルボール体験など各団体による催しも多数行われ、大いに賑わいました。



小中学生がチームで商品決めから販売までの運営を行う「あきんど選手権」が実施され、貝殻キーホルダーなどを作り販売。

戦争が終わり今年で77年。今の平和な暮らしが、多くの犠牲の上に築かれていることを後世に伝えていく必要があります。



戦後77年 思いを馳せ冥福を祈る 戦没者・殉職者合同追悼式を開催

11月18日、総合交流センターで行われた「戦没者・殉職者合同追悼式」に43名が参列し、黙とうを捧げて亡くなられた方々への冥福を祈りました。遺族会の久保幸雄会長は「戦争の悲惨さ、平和の尊さを引き継いでいくことが使命」と追悼の言葉を述べ、遺族や関係者が献花台に菊の花を手向け追悼しました。

地元の旗山神社に伝わる神舞を昨年は5・6年生が初めて挑戦。今年は3・4年生も練習を行い、力強い神舞を披露しました。



池田小わくわくふれあいフェスティバル 児童13名が日頃の学習成果を発表

11月12日、池田小学校で学習発表会が開催され、児童13名が日頃の学習成果を発表しました。来場した約50名の前に、1・2年生は「大きなこえでげんきよく」の音読、3～6年生は「神舞」を披露。5年生の上園龍吾君は「口上が難しかったが、基本的な動きをみんなと揃えることができて嬉しかった」と答えました。

11月9日から始まった秋の全国火災予防運動に合わせて行われ、11日には田代幼稚園幼年消防クラブが防火パレードを実施。町内では野焼きによる火災などが発生しています。



幼年消防クラブが防火パレード 火災予防を呼び掛け行進

11月10日に法輪保育園幼年消防クラブが防火パレードを行い、火災の発生しやすい季節の前に注意を呼びかけました。福園^{きわ}ちゃんを先頭に9名の園児が参加し、パレード後には和太鼓の演奏を披露。「わたしたちはひあそびをしません」の横断幕を手に拍子木を打ち鳴らし沿道の住民に向け、大きな掛け声で力強く火災予防を訴えました。

丹野さんと町内4小学校が合同交流会 溜め込まず相談や助けを求めて

39歳で若年性認知症を発症しながらも、認知症に対する普及啓発活動を行う丹野智文さんとの交流会が11月9日に総合交流センターで行われました。町内4小学校から児童40名が参加し対話形式で進行。大原小6年生の川畑志乃さんは「認知症は嫌なことが多いと思っていたが、楽しいこともあるとわかった」と話しました。



丹野さんは「困ったときには、自分だけで溜め込まず周りの人に相談や助けを求めることが大切」とメッセージを贈りました。

劇では「孝道泉^{こうどうせん}」が設置された経緯についても紹介され、最後に全員の将来の夢を発表し「150」の文字を色画用紙で表現。



創立150周年記念式典・学習発表会開催 大根占小150年を劇で振り返る

11月12日に大根占小学校で創立150周年記念式典と学習発表会が行われました。6年生24名が周囲の大人から当時の様子について聞き取りを行い、創立150周年を題材にした劇を創作し、学習発表会で披露。6年生の水口優奈さんは「劇をしながら150年の歴史について知ることができてよかった」と笑顔で答えました。